

針刺し等汚染事故マニュアル改定について

1 改定が必要になった経緯

- (1) 市民病院が消防局当該事故のH I V対応困難となったこと
- (2) 院内医療行為補助時及び第三者受傷の対応整備が必要

2 改定の方向性（改定作業状況）

- (1) 感染事故バックアップ医療機関

[従 来] 熊本市民病院 熊本医療センター

[改定案] 熊本医療センター 熊本大学医学部附属病院

- (2) 自己受傷、医療機関からの受傷、第三者の受傷の整理
- (3) 救急隊、署、情報司令課、救急課の行動を明確に整理

3 今後の進め方

- ・改定の方向性に沿って、関係機関のご意見を伺いマニュアル案策定
- ・マニュアル案を、メディカルコントロール協議会委員に提示
- ・案の必要な修正を行い委員承認

4 検討事項 マニュアルに関する覚書等の事務処理を行うべきか。